



校報 あずまね

2026・7・22 第4号

主体的に学ぶ生徒
奉仕の心を持つ生徒
健康で活力ある生徒

文責：紫波町立紫波第三中学校 校長 法貴 裕誠

県中総体開催、熱戦の結果 陸上・棒高跳全国大会出場へ

7月19日(土)～21日(月)、県内各地に於いて岩手県中学校総合体育大会が開催されました。本校からは地区大会を勝ち上がった、バスケ男女、卓球男子団体・個人、卓球女子個人、陸上競技棒高跳びの各選手が大会に挑みました。真夏の暑さの中、熱戦が繰り広げられ、大健闘しました。

陸上競技・男子棒高跳では3年生藤原旭さんが第1位、4mの標準記録に到達、8月20日に山口県で行われる全国大会への出場権を獲得しました。おめでとうございます。

今回参加した大会は、北上市、奥州市、一関市での開催となりました。遠いところ選手送迎や熱心に応援頂いたご家族、地域の皆様、ありがとうございました。



熱戦の一コマ



大会結果

男子バスケットボール部

1回戦 対 上野 36—76 敗

女子バスケットボール部(紫波一中との合同チーム)

1回戦 対 磐井・千厩 29—60 敗

男子卓球部

団体1回戦 対 種市 1—3 敗

個人戦 3年 漆澤 優斗さん

対 一関一附属 2—3 敗

女子卓球部

個人戦 3年 清川 萌佳さん

対 巖美 0—3 敗

特設陸上部

男子棒高跳 藤原 旭さん 第1位 4m00

※全国大会出場権獲得

藤原 新さん 第6位 2m70

「ふるさとの未来創造的な学び」

3年 SDGs de 地方創生

2年 職場体験学習

1年 あずまねカフェ

紫波西学園小中一貫教育の目標、『「ふるさとの未来創造的な学び」を実現する児童生徒の育成』の具体実践の1つ、ふるさと学習は、大人との対話を重ねてふるさとを支える人々の生き方から学ぶことをねらいとしています。

2学年は、7月6日(月)、7日(火)、「職場体験学習」を行いました。盛岡市、紫波町、花巻市の22カ所の事業所に出向いて実際に働き、働くことの意義や価値を、事業所の方々の真摯な働き方から学ばせていただきました。

職場体験学習の様子



ご協力いただいた皆様

- ・なおしま医院様
- ・さくらまち整骨院様
- ・サニー薬局様
- ・紫波消防署様
- ・中谷地写真館様
- ・鮎清次郎紫波店様
- ・あづま幼稚園様
- ・盛岡地方気象台様
- ・虹の保育園様
- ・岩手県空港ターミナルビル株式会社様
- ・美容室OTTO様
- ・紫波町中央図書館様
- ・紫波中央郵便局様
- ・百寿の郷様
- ・スーパースポーツゼビオ紫波店様
- ・株式会社岩鑄様
- ・マックスバリュ紫波様
- ・ファミリーマート紫波八幡店様
- ・原スポーツ様
- ・ホロニックシステムズ様
- ・セントラルフィットネスクラブ24盛岡様
- ・ラフランス温泉館様
- お世話になりました

1学期ありがとうございました

今学期も最後の三者面談が間もなく終わり、夏休みを迎えるところまで来ました。ご家庭、地域の皆様に支えられ、無事に学期末を迎えられることに感謝いたします。

しかし、この十数年の間に、学校教育、地域と学校、PTAの在り方がずいぶん変化したと感じています。震災、コロナ、高度な情報社会の発達、少子高齢化などにより、これまで当たり前と思ってやってきたことが、全く通用しなくなることもしばしばです。

それでも、紫波三中学区の地域、保護者の皆様には、学校教育に対する熱心な思いや協力があり、公民館の行事や挨拶運動などに多く参加していただいています。クマ出没対策についても迅速に対応いただいております。本当にありがたいことです。教職員一同感謝を忘れず、子どもたちが自立し、将来の紫波町や日本を背負っていけるよう、教育にあたってまいりたいと思います。

熱中症防止・夏の部活動対策

夏休み中の部活動が計画されています。しかし、近年命に危険が迫るような猛烈な暑さの日が増えており、まずは生徒の安全確保に努めたいと考えています。

学校では暑さ指数(WBGT)を計測しており、28以上で厳重警戒、31以上で運動中止の措置をとることとしています。

夏休み中は、翌日の予想最高気温により活動中止の可能性がある場合、前日夕方に楽メにて、情報に注意いただくよう連絡します。当日朝の状況により中止の場合、再度連絡します。

また、活動がすでに始まっても、急激に危険な温度、指数が確認された場合、途中で切り上げる場合もあります。お迎えがすぐ来られない場合、生徒を涼しい部屋で待機させます。

ご理解、ご協力をお願いいたします。

紫波三中まなびフェストについて

標題の横に紫波三中学校教育目標「主体的に学ぶ生徒」「奉仕の心を持つ生徒」「健康で活力ある生徒」を記述させていただいております。また、本校は西の杜小学校との小中一貫校・紫波西学園として位置づけられており、紫波西学園としての教育目標も存在する二十構造の少々複雑な形になっています。

具体の重点等をまとめた、「紫波西学園・紫波第三中学校 まなびフェスト」を別添でお付けします。

年度末にこれに関わるアンケートを行いますので、よりよい本校教育、家庭教育のための指標としてご活用ください。

1学年は、7月6日(月)本校を会場に、地元の企業で活躍しておられる6名の講師をお招きし、それぞれの6つの会場に分かれてお話を聞いたり、質疑応答をしたりしました。講師の先生方からは、普段知ることのできない仕事の苦勞、やりがい、これから社会に羽ばたく学生に期待することなど、貴重なお話を聞くことができました。

あずまねカフェで講師から話を聞く1年生



ご協力いただいた皆様

オラド・ヤ・ルーベ様 紫波酒造店様 百寿の郷様
甚乃米様 あぐり志和様 橋建設様
お世話になりました

3学年は7月6日(月)、SDGs de 地方創生ファシリテーターの館川浩先生をお招きし、SDGsの目標達成に向けて地方の課題を解決することの学習を行いました。



生徒は紫波町の行政チームと住民チームに分かれ、地域の課題を解決し、将来にわたって持続可能な街づくりを行うシミュレーションゲームに挑戦。町を活性化させるプロジェクト推進のために他の住民と相談しながら人材や資金の調達を相談したり、行政に支援を取り付けるため採算性を説明したり、楽しみながら真剣に町の将来を考えました。

